

中大生の採用。 就職状況は どうですか？

企業の人事担当者を招き、 和やかに懇談



学長招待会

「白門情報交換会」開く

恒例の学長招待会「白門情報交換会」が6月2日、都内のホテルで開かれた。毎年、企業の人事担当者をお招きし、日頃のご厚情を感謝するとともに、中大生はじめ学卒者の採用・就職状況についての情報交換、あわせて懇親を深めるために開いているものである。この日は約300社から約410人の人事担当者が出席、大学側との情報交換の輪が広がった。

■久野理事長が講話

情報交換会は午後4時に開会、はじめに久野修慈理事長が「経営者の立場から見た教育力」と題して講話。

このなかで久野理事長は、「厳しい経済環境ですが、若い人を迎え、鍛えていくのは日本経済のなかで大変

重要です。ぜひよろしくお願い申し上げます」と挨拶したうえで、「私は理事長ではなく、営業部長だと思っています」と強調した。

久野理事長は、「トップの人間が地べたを歩きながら、教育のレベルを末端から強くしていかなければならないと思っています。社会に役立つ人間を育てていきたい」と大学教育に対する所信を明らかにした。

「私は営業部長」と講話する久野理事長（演壇）

また、「教育の基本は、『ご迷惑をおかけしました』ありがとうとございます」などと心から言えるようにすることです」と指摘。さらに「自分から前に進む、実行力を持つ学生を鍛えていかなければならない」と大学教育の使命に触れ、その上で「人材ほど会社を守るものはない」と強調し、中大生の採用について理解と協力を懇請した。





名刺を出しながら情報を交換

■活発に名刺交換

このあと休憩をはさんで情報交換を兼ねた懇談会に移り、

永井和之総長・学長の挨拶に続き、副学長、学部長はじめ就職担当責任者の教員が紹介され、懇談に入った。

懇談では、大学の教職員が各テーブルを回って、招待した企業人事担当者らと名刺交換するなど、活発に採用・就職状況について情報交換した。

◆人事担当者に

聞く

①企業が欲しい人材とは

②最近の学生をどのように感じているか

③学生に持って欲しい資質、能力は

④学生時代にやっておくことは

出席された企業の人事担当者以下に4点について聞いた。①「100年に一度」の経済危機のなかで、大学生の就職状況も厳しくなっています。このような経済環境で、企業が欲しい人材とはどういう人材でしょうか②最近の学生をどのように感じていますか③就職に臨む学生に持って欲しい資質、能力は何でしょうか④社会人になって、学生時代にやっておけばよかったと思われることはありますか。

■色々価値観を理解

パナソニック株式会社

グループ採用センター

小林 真里様

①新しく何かをつくり出すタイプの人。オリジナリティ、創造性がある。

②中央大学の学生については、よく勉強している。真面目。悪い印象は無い。

③コミュニケーション能力。いろいろな年代の人と話す時、いろいろな価値観を理解する力、マナーも身につく。最近の学生はコミュニケーション能力が低下している。よく学生と電話で話すが、敬語がきちんと使えなかったり、話の主旨を伝えられなかったりする学生が多い。色々な世代の人とコミュニケーションをとって、もまれていれば、自分の経験の中から対応できることは多い。

④今の学生に欠けているのは、自分たちで考えて遊ぶこと。サークルでも、ボランティアでもいいが、自分たちで考え出し、自分たちでルールをつくることを経験して欲しい。自分で考え出す経験が豊富な人は、オリジナリティ、創造性も自然と身に付くはず。

■中大生は外に目向けて

株式会社きょうせい

人事部人事課 足達 香織様

河原田 智之様

①「100年に一度」と言われるが、

そのときだけ頑張るのではなく、

普段からこつこつと、着実に、地

に足をつけて頑張っている人。

②学生全般について言うと、すごく

真面目。かなり早い段階で、企業



壇上に上がり、紹介される副学長、学部長ら

訪問したり、セミナーに参加したりしている。ただ、早くから決めます。もつと他にも可能性があるかもしれないのに、それしかみえていない場合もある。視野を広く持った方がよい。

中央大学の学生は力があるが、もつと外に目を向ける必要があると思う。インターンシップなど大学側もいろいろ実施しているが、

大学側からの提供をまつだけでは

なく、自分からもつと積極的にかかわることが必要だ。

③社会人基礎力。挨拶、基本的なマナー。また、学生には今しかできないことがあるので、今を大切に

して積み重ね、力をつけてもらいたい。

④時間を有効に使うこと。社会人になつてから、時間の大切さを実感

している。

■いろいろな価値観に触れて

富士フイルム株式会社

人事部担当部長

座間 康様

①会社に入つて1年目、2年目でも、自分の仕事に関しては、強い思いをもつて取り組み、誰に対してもしっかりと自分の意見を伝えていける人。

②とても一生懸命。自分のころに比べたら、忙しいし、経験もいっぱい

いしている。だが、経験の数が多ければいいというわけではなく、

そこから何を感じるかが大事。感じて、考えて、経験を自分のものにしていくことが必要。そして、経験を自分の言葉で伝えていけることが大切。

③感じる力。なぜ、と思える力。感じる力が高まれば、自分なりの思い

いができる。そして、その思いを

伝える力も重要で、幅広い人に理解してもらうには論理力も必要。

④本を読む。知識をつけるという意味ではなく、想像する、感じる力が

がつく。また、いい文章は論理的

なので、伝える力も高まる。また、幅広い年代の人と話すなど、多

様な価値観に触れることで、なぜだ

らうと深くものを考える習慣をつ

けておくことも大切。

■話を引き出せる人

読売新聞東京本社

総務局人事部主任

室 靖治様

①人から話を引き出すことができる

人材。また、人と会って話を聴くのを厭わず、嫌なことがあってもめげないで、やってみようと思う人材。

②中央大学の学生は、積極的でまじめ、今の自分を将来と関連づけることができる。

③新聞社に資格はいらぬ。世の中に幅広く関心を持ち、何ができるとか考えることが重要。

⑤語学。国際会議の取材で苦労したため。

■仕事から逃げない人

大和証券株式会社

人事部人材開発課長

仲沼 之博様

①自ら高い目標を掲げ、その目標に向かつてどこまでも努力できる人材を求めている。やる気と熱意を持ち、辛い状況でも仕事から逃げ出さずにがんばれる人。

②おとなしい子が多い。もつと積極性があってもいいのではないかと

安定志向で保守的な人が増えている感じがする。

③仕事とは組織の中で行うものであり一人では出来ない。協調性、誠実さをもっている人になって欲しい。対外的（お客様等）はもちろん社内においても“信頼”されることが一番重要。

④学生時代にしかできないこともあるので自分のやりたいことを悔いが残らないようにやるべき。4年生になつたら社会人になる準備として国内外の社会情勢（政治、経済等）にも目を向け、いろんな事に興味を持つように心がけた方がよい。

■中大生は強さがある

五洋建設株式会社

総合監査部部长

菊池 正俊様

①バイタリティーがある人。大学で学んできた勉学は身につけていて当たり前。それに加えて人付き合い

ができること。

②中大生は礼儀正しい。群れたがらない一匹狼が多く、話しているうちに中大卒と気がつくことが多い。協調性があり、組織への順応性があり、逆境に耐える強さを持っている。

③アピール力。自己PRはもちろん、入社してからの企業PRの際にも必要。海外とも競争して劣らずにPRができること。

④悔いのないようにいろいろな経験を積む。

■よく見せるよりも素直に

オリックス株式会社

人事グループ人材開発チーム

中村 麻里子様

①チャレンジ精神のある人。既成概念にとらわれずに、自ら新しいことを考えたり、それを実行にうつす力を持っている人。

②不安もあるかもしれないが、「こじやないといけない」と変に自分

分を会社に合わせてつくり上げていく人が少なくない。無理に自分を良く見せるよりも自分らしさを素直に表現することが大切。

③多くのことに興味を持ち、行動するチャレンジ精神。柔軟性も必要。④様々な経験をすること。経験のなかで、世代間問わず多くの人と幅広く交流することで視野を広げている。

■思いついたら挑戦する

小田急電鉄株式会社

人事部採用・能力開発担当

水島 悦子様

①自ら進んで行動できる能動的な学生。フレッシュかつエネルギーシユな学生。また、学生時代に何かに一生懸命取り組んできた学生。②中大生は、バランスのよい学生が多い。バイタリティーある、どんな環境でもやっつけていける強さを兼ね備えた人が多い。また、当社にも近年コンスタントに入社してお

り、個人的にはとても頼もしく、嬉しいと感じている。

③大学の勉強をしつかりやるのが大事。社会で必要となる常識的な能力（敬語、気遣い、コミュニケーション能力など）を身につけておいて欲しい。

④勉強を含め、旅行、アルバイトなど時間が比較のある学生にしかできない事に、積極的に取り組んで欲しい。何事にも思い立ったら躊躇

踏せず果敢に挑戦する。「就職活動中」多種多様な業界・会社の生の声を聞き、客観的に判断し、自分に合う会社を見つけてくれることが大事。

■情熱を持って自分らしく

三井生命保険株式会社
人事部・人事グループ

清高 智大様

①即戦力になる人材。会社を変えて

くれる人材。目的をもって打ち込んでいる人。これだけは、決して譲れないという熱い気持ちを持っている人。やりたいことを最後までやり、プライドがある人。

②売り手から買い手市場に変わり、就職活動に真面目に取り組む姿勢は分かるが、個性をつぶしてしまっている人が多い。もともと元気を出し、自分の個性を前面に出してほしい。その中でも、中大生は比較的元気が良い印象を受ける。

③就職本やマニュアルは見ないで欲しい。ありのままの自分を見せてくれれば十分。

最低限の礼儀作法も大事であるが、個性が何より大事。

④今しかない大学生活でアルバイト、ゼミ、部活、旅行など何かに打ち込み、最後までやり切って欲しい。今までに成功体験を持っている人は、社会に入っても成功する要素があるからだ。

■一緒に仕事したいと思われる人

アクサ生命保険株式会社

人事総務部マネージャー

佐野 泰弘様

①何事にもチャレンジできる前向きな人。チームで仕事ができ、いざという時にチームで活躍できる人。一人だけでは、仕事はできないので、あの人と一緒に働きたいと思えるような魅力がある人。

②会社のネームバリューに惑わされずに、このチームに入り、仕事をしたいと思える企業を見つけられることが大事。

③お客様に対する思いやりや、コミュニケーション能力。

④やるべきことをやるべき時にやる。

学生記者

武田朋実（法学部4年）／新部真子

（文学部4年）／梶原麗奈（法学部

3年）／箕輪佑樹（法学部2年）



懇親会場で人目を引いた「南極の氷」

🏃 スポーツの応援情報は、このサイトから! 🏃

学生イベントカレンダーは、学生が参加するスポーツ競技会の開催情報や結果をはじめとして、学生主催の講演会、演奏会などの情報を学生が独自で入力し、中央大学の公式Webサイトや学内の電子掲示板に掲載する仕組みです。



中央大学のトップページ

このバナー **学生が発信する イベント・競技情報** からどうぞ!

www.chuo-u.ac.jp

学生イベントカレンダー

- イベント全体
- スポーツ大会・競技会
(主催・参加)
- 演奏会・講演会
(主催・参加)
- 一般学生主催のイベント